

豊里小学校運営協議会だより

令和6年8月30日発行



第2回学校運営協議会 7/31(水)

第2回学校運営協議会が、7月31日(水)に行われました。学校から、1学期に実施した行事や学校評価(児童・保護者・教職員)の結果を説明したあと、意見交換が行われました。

【学校より】

●1学期の行事等について

- ・6年修学旅行、5年林間学校を始め、ミニトマト狩りなどの校外行事を、地域の方々にお世話になり、実施することができた。
- ・新一万円札発行に関するイベントでは、くす玉割りを始め、航空写真撮影、横断幕設置などをした。また、4・6年生が「一万円札つながり」で、大分県中津市立北部小学校とリモート交流をした。2学期に、2回目のリモート交流会を行う予定である。

●1学期学校評価の結果について

- ・児童評価 →自分を肯定的に評価している児童の割合が増えた。「友達を大切にしている」などの評価が上がった。積極的な生徒指導を行っている成果と考える。課題点は「言葉遣い」で、昨年度より5ポイント以上上がっている。
- ・保護者評価 →「子供が「学校が好き」と言っている」が昨年度より5ポイント以上上がった。「家庭学習への取組」「学校や友達のことを話す」「ありがとうやごめんなさいが言える」は5ポイント以上上がっており、学校ではできていることが家庭ではできていない状況があるようだ。
- ・教職員評価 →学習規律に力を入れている。児童の椅子の座り方が悪く、気になっている。掃除を頑張っている児童が増えてきた。課題は、やはり児童の「言葉遣い」である。

●意見交換から

- ・宿題については、「もっと出してほしい」という家庭と「多い」という家庭と両方ある。児童の学力差にも配慮するため、担任も宿題の内容や出す量には苦慮している。
- ・他校では、保護者の学校評価の回答率が50%くらいのところもある。未回答の家庭も考慮すると評価の数値はもっと下がるだろう。豊里小の回答率は悪くはない。
- ・最近の子供は「面倒くさい」が口癖になっている。タブレットを使用している影響からか、「書く力」が低下しているように思う。
- ・保護者評価で「早寝早起き朝ごはん」のできていない家庭が、豊里地区でも16%あることに驚いた。

★学校評価の結果については、学校HPでご覧いただけます。